

# 老人クラブ会員の方へ



平成26年10月

発行 広島県警察本部  
交通部交通企画課

## 「点ける👉広島県」ライト点灯運動 実施中!

例年、秋口からは、暗くなる時間帯と交通量が多くなる帰宅時間とが重なることなどから、夕暮れ・夜間の交通事故が増加する傾向にあります。

夕暮れ・夜間の交通事故を分析すると、車両の殆どが下向きライトで、自転車の半数が無灯火、歩行者の殆どが反射材を未活用であり、発見の遅れが交通事故に繋がっている状況がうかがえます。

そこで、広島県警察では、夕暮れ・夜間の交通事故防止を図るため、関係機関・団体と連携して、車両の運転者に対する早めのライト点灯、上向きライトの励行及び自転車のライト点灯を促進する運動を展開していきます。



### 早めのライト点灯と夜間の確実なライト点灯を👉

ライトを点灯すると、進行方向の視界を確保できるだけでなく、他の車両や歩行者に自分の存在を早く知らせることができます。

薄暗くなる前に、早めにライトを点灯して、安全性をアップさせましょう。

夜間は、自転車も含め、車両はライトを点灯しなければいけません。

夜間は、確実にライトを点灯しましょう。



### 車両は上向きライトが基本👉

車両は上向きライトが基本です。

ライトを上向きにすると、下向きライトでは見えない危険を早期に発見することができ、交通事故を未然に防止することができます。



※ 対向車や前に車両がいるときは、下向きライトにこまめな切り替えをしましょう。

下向き  
ライト



約40m



上向き  
ライト



約100m



下向きでは約40mのところ、上向きでは約100m先まで確認できます。

車が時速60kmで走行していた場合、発見から停止するまでに約44mかかり、発見が少しでも遅れると、その停止距離は更に長くなります。上向きライトにしておけば、発見が遅れても安全に停止することができます。

### 【歩行者の方へ】

夕暮れ・夜間は、昼間と比べ視認性が悪くなるため、車のドライバーからは歩行者が非常に見えにくくなり、歩行者からは、車の走行速度や車との距離感覚が誤りやすくなります。

★ 夕暮れ・夜間は、反射材やLEDライトを活用をして、安全性をアップさせましょう

★ 歩行する際は、昼間以上に周囲に注意を払い、横断する際は、左右の安全を確認し、車が来ていないことを確認してから横断しましょう。

